

平成18年度

夜久野自治会だより

第4号



おもな内容

会長あいさつ……………	2
年度末定期総会報告……………	2
「地上デジタル」難視聴対策……………	3
住民の声……………	4・5
要望書報告「旧役場庁舎」対策……………	5
輝く夜久野の子どもたち……………	6
まちかどフォト……………	7
夜久野町史編纂だより……………	8
駐在所さんから……………	9
ホットニュース・まごころ銀行……………	10

〔夜久野のしだれ桜〕

(写真提供 波多野 實氏)
夜久野写真クラブ所属

一年を振り返って

夜久野町連合自治会長 稲垣 司郎

例年にならない暖冬に終わりを告げ、花々の咲き競う春爛漫の季節となりました。会員の皆様のご家庭に置かれましては、農作業をはじめ、お子様方の就職や進学進級など、忙しい中にも心楽しい毎日をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私ごとで誠に恐縮ではございますが、一言お礼を述べさせていただきます。

昨年は、夜久野町連合自治会初代会長の大役をお受けし、戸惑いながらも役員並びに地区会長様、そして会員の皆様より頂きました大きな励ましとお力添えのお蔭で、何とか任を果たすことが出来ました。誠に有り難く深く感謝致しております。本当に有り難うございました。

振り返ってみますと、旧夜久野町時代とは打って変わって、自主運営組織のため運営資金ゼロ円からの出発でした。一軒につき一ヶ月五〇円の会費を皆様方から頂き、名称も夜久野町連合自治会と改め、報告書に記載の事業等を実施してまいりました。

なかでも、市が打ち出した「地上デジタル化に伴う多額の受益者負担」に対して、多くの皆様方の強い支持を得た反対署名活動の取り組みは、「住民一人ひとりの熱意と団結が何者にも勝る力となる」ことを間近に学ばせて頂きました。

また、夜久野町連合自治会立ち上げ間もなく、夜久野・三和・大江の旧三町が団結し、

市長面談で「支所は廃止しない」との約束を取り付けた一件は、大きな成果でした。ただ、初年度分連合会費未納の三地区を残したままであることは、会長としての力量不足を認めません。

更に、三回分の「自治会だより」と「家庭ゴミ収集カレンダー」の無配布の地区があり、これによつて多大の不利益を被られておられる皆様に対して、心より遺憾に思うと同時に誠に申し訳なく存じております。これを反省に次年度よりは、全会員の皆様が連合会員としての権利を等しく享受出来ますことを念じて止みません。

今、世界では、政治経済あらゆる面で大きな課題をかかえ、日本もまた、教育や福祉そして地球温暖化など同様な問題に悩まされております。こういった状況の中ではありますが、一人ひとりが小さな幸せを大切にして暮らしているのが現状だと思えます。

私たちも福知山市の一員になった今日、旧市内のベテラン自治会に追いつけ追い越せの意気込みで団結し、夜久野の底力を発揮するべく頑張つて行くのではありませんか。

末筆になりましたが、一年間ふつつかない私どもを暖かく支えて頂き大変お世話になりましたこと、役員を代表いたしまして、ここに改めて厚く御礼申し上げます。

本当に有り難うございました。

年度末定期総会終わる！

夜久野町連合自治会

三月十一日、夜久野ふれあいプラザで連合自治会年度末定期総会が、三十六名の自治会長の出席を得て開催し、今年度の取組みの総括が報告どおり承認されました。

その主な内容は、

- ① 河川掃除に対する京都府と連合自治会との業務委託契約締結と四十四自治会への補助金振込み
 - ② 「自治会だより」の年四回発行及び「家庭ゴミ収集カレンダー」の全戸配布
 - ③ 三小学校プール監視員への財政支援
 - ④ 地上デジタル化に伴うテレビ難視聴対策負担金撤回署名活動と市への要望書提出
 - ⑤ 「三支所は廃止しない」との市長発言の引出し
 - ⑥ 上夜久野地区の税金等出張徴収の継続実施確約
 - ⑦ 夜久野地域公民館と共同した各行事への支援
 - ⑧ 「子ども安全見守り活動」等への参加
 - ⑨ 公民館と協調し「夜久野ふるさと基金（まごころ銀行）」の継承と浄財の還元
 - ⑩ 自主防災組織結成への支援（本年度三組織結成）などがありました。
- 本年度は新市発足後の『自主・自立』の運営となり暗中模索状態の船出でしたが、夜久野地域の皆様のご理解とご支援を受け、一定の道筋がつけられましたことに感謝申し上げます。
- 来年度におきましても変らぬご支援をお願い申し上げます。

なお、決算については別記のとおりです。

※会計報告は、5ページに掲載しています。

テレビ難視聴対策 署名のご協力ありがとうございました。

夜久野町連合自治会では、「e-ふくちやま」整備事業（地上デジタル放送移行）の取り組みについて、注目をしておりました。

今回、この件について2回にわたって説明会が行われる中、市側の案を受け入れることはできないという立場に立って、反対署名を実施し、市側に要望して参りました。

これらの成果が大きく実り、市長が先日、ご承知の通りの引き下げ案の記者会見を行ったところであります。

ここに、H19年2月8日付京都新聞の記事（転載許可済み）を転載させていただき、今後ともこれらの運動にご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

論点

二〇一一年、テレビは地上デジタル放送（地デジ）に切り替わる。しかし、個人のテレビを替えるだけではすまない世帯が多いことをご存知だろうか。全国2%（百二十一万世帯）。多くが過疎地だ。京都府内でも地域によって比率が上がる。たとえば福知山市全域では17%、市と合併した夜久野町は87%。地域では今、行政が進める光ファイバー整備計画に参加するか、地元の共聴設備を改修するかに揺れる。いずれにせよ、費用の一部は住民負担という。

「各世帯ご負担、十五万八千円」。昨年末、市内十二カ所で開かれた説明会で福知山市が提示した金額に、住民は驚いた。「都会では無料なのに」。以降、各地域は減額や無料化を求めて奔走した。市側も計画を見直し、今月「約四万円」と修正。今後はこの金額を市議会で審議するという。

■切り替え期間10年
地デジ化はそもそも、国家戦略だ。国は〇一年、「e-japan戦略」を背景に電波法を改正、

地上デジタル放送移行

地デジへの完全移行を決めた。全世帯に普及したテレビでIT化を図り、「高質な映像音声、サービスを提供する」という。

負担に地域差解消を

移行期間はわずか十年。都市圏では整備が進み、総務省の見込みでは昨年末に約八割が受信可能世帯になった。だが、残り二割が難航する。

難視聴にはビルなどが障害になるケースと、山間部で電波が遮断されるケースがある。福知山市は後者で、現在も九十カ所（五千九百世帯）が各地域で共聴アンテナを設置、電波を受け

市は、全域を光ファイバーで



テレビの交換やチューナー購入に加え、難視聴地域はプラスアルファの出費が求められている。福知山市で昨年開かれた「テレビ難視聴地域対策説明会」の会場では切実な訴えが相次いだ

さらに大きな狙いは「周波数を増やして新たな通信産業に活用」。「全国一億台のテレビ需要を動かす」などの経済効果だ。

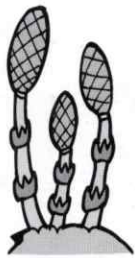
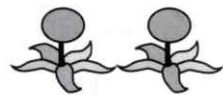
結ぶ「e-ふくちやま整備事業」に難視聴対策を組み込み、かかる三十五億五千万円の財源を探索した。そして、地域IT化の整備に対する国庫補助と合併特例債（交付金措置分）で二十五億円、市が約一億円、残りを当該地域の住民で負担する試算をした。割った額が一世帯十五万八千円。加えて、月千円の管理費も徴収するという。

揺れる難視聴地域

住民は市に再考を求めるとともに、今の共聴アンテナを改修して使えないかなど独自の道も考えた。技術的には可能だが、設備の状態で世帯数で改修費が違い、公共放送分はNHKが担う地域もあつて、ここでも安く済む地域とそうでない地域に分かれてしまう。

市の値下げ案に住民は少し安堵しつつ、「必要経費なら、なぜ値下げできた？」「年金生活者には四万円も痛い」と疑問や不安の声は残る。

わが町の声 コーナー その3



「命」

平成十八年度の漢字が「命」に決まりました。清水寺の森貫主は「命が選ばれたのは、人々に深い苦しみが潜んでいる表れ、命を敬い尊重し合う事に心して書いた」と新聞にありました。私も心から同感します。このところ、どうなっているのかな！と考えこんでしまっている。テレビ・新聞で毎日のように目にし、耳にします。親が自分の分身である子を殺す、子が自分を殺す、ただ一度の人生を自分自身の手で断ってしまう。又自分の思い向くままに、いとも簡単に他人を殺める。今程、命を軽々しく扱う世の中、何と悲しく淋しい事でしょう。

世の中には、必死で難病と闘っている人、障害を抱えながら一生懸命頑張っている人、皆、各々真剣に生きています。私達も、一生一度の与えられた人生、もつとつと「命」を大切に大切に守っていききたいものです。

今年の漢字が「命」に決まった事を、今一度お互い深く心に刻み、色々な形で大切にしていかなければと思います。

夜久野は今平穏な町です。こ

のまま続くように、隣、近所お互いに声掛け合って、命を守る運動が出来たらなあと思います。又、家庭生活の中で、又学校教育の中で、小さい頃より人の命、物の命の尊さ、大切さをしっかり教える、今改めて「命」について真剣に考えていきたいと思っています。

中地区女性

「市民として思うこと」

家族をも省みずただひたすら働いた。我々同世代の者は皆大同小異だろう。

高速鉄道網・自動車道路網は完備、超高層ビルは林立、世界に冠たる企業は目白押し、国民総生産世界第2位の経済大国、世界の主要国メンバー。

戦後の復興期を知る一人として実に感慨深い。

同時に国・地方自治体はまさに天文学的数字の借金、そして、なお増え続けている。

平成の大合併は「無い袖は振れぬ」と兵糧攻めにあって首を縦に振らされたようなものである。行政サービスの低下は免れない。行政サービスが必要とする人へのしわ寄せは深刻である。働けど働けど経済的困難から抜け出せないワーカーキングプアの増加、年金・医療保険等最後の抛りどころとなる社

「高齢者の声」

高齢者とのふれあいの集まりで「困っていることや心配事」について話し合ってみた。健康面をはじめ色々な事が話題になったが、最も深刻な問題として出た一つについて記してみたい。

それは、息子夫婦と同居家族の悩みであった。昔でいう嫁と姑との関係である。

高齢者の多くは、大正、昭和初期に生まれ三世代四世代同居の大家族の中で、衣食住とも恵まれた時代、時代に懸命に生きてきた人達である。

女性は嫁いで嫁として農作業と主婦業に専念し、大家族の面倒を

会保障制度に対する不安、人口の過疎過密の二極化の進行。人間関係の希薄化。

我々の地域共同体は維持できるのだろうか。心配の種は尽きない。保育園児の団が「こんにちは」と声をかけて通り過ぎる。小学校から児童の声が聞こえてくる。我々が残したツケをこの子供らに始末を迫ることになると思うと胸が痛む。この子供らにメダカが泳ぐ小川、カワセミが飛ぶホタルが乱舞する清流を取り戻すことがせめてもの償いと自家菜園の手入れをしながら思うのだが。

上地区男性

LPガス・住宅設備機器・上下水道工事・空調設備

株式会社 くさか

福知山店 福知山市字前田1878-296 TEL 0773(27)1319番(代)
夜久野店 福知山市夜久野町額田1377 TEL 0773(37)0008番(代)

醤油・味噌・酢・製造
有限会社 日下本店

福知山市夜久野町額田1377
TEL 0773(37)0008番(代)

一手に引き受け姑を見送るまでが
 大きな役目でもあった。
 ところが、いつの日か長い年月
 を経て自分も高齢になってみれば、
 世の中大きく変わっていた。若い
 がら暮らす今の高齢者の心遣いな
 話されるのである。「大事にされ
 る、されないの問題ではない。老
 いたものの言い分には耳を傾け
 なくてはならない。耳を傾けて
 ある。」と高齢者の声は切実。
 ついては一方の、現在の若い女性
 権にはじまり、男性と戦後男女同
 育を受け、確かな職業をもち、高
 場の地位の確保、そして経済力
 の保持、社会もこうした人材を必
 要としている。
 変えられない、女性は今、男性と
 ら、家庭にあっては妻として母と
 して更に主婦として懸命に生き
 も認めているもの。心は何か満た
 されない。
 と、このように、活躍している女性
 ばよいかを考えるとき、「優しい
 言葉かけ、言葉一つでどうにも
 人間は、言葉一つでどうにも
 変わるものである。
 若者には、これから増えてくる
 老人を思い温かく接する心根の持
 ち主になつてほしい、と願ってい

中地区女性

平成18年度決算報告書(見込)

【一般会計】 (収入)

科目	予算額	決算額	摘要
繰入金	0	500	特別会計から
借入金	50,000	90,000	特別会計から
会費	900,000	820,800	1368戸(一部未納)
雑収入	0	180,171	協賛金、利息
合計	950,000	1,091,471	

【特別会計】

科目	収入額	支出額	差引残高	摘要
繰越金	16,437		16,437	夜久野町連合区長会から引継
繰入金		500	15,937	一般会計へ繰入
租税公課		10,000	5,937	京都府委託契約書印紙代
河川除草委託	6,358,800		6,364,737	京都府河川掃除委託金
河川除草補助		6,173,260	191,477	自治会河川掃除補助金
貸出金		40,000	151,477	一般会計貸出金
合計	6,375,237	6,223,760	151,477	次年度繰越額

(支出)

科目	予算額	決算額	摘要
会議費	30,000	9,788	総会費
事務消耗品費	60,000	48,668	用紙・事務用品
通信交通費	40,000	27,820	切手・郵送料
事業費	750,000	942,628	自治会だより他
負担金	10,000	0	
返済金	50,000	50,000	借入金相殺分
予備費	10,000	0	
合計	950,000	1,078,904	

旧役場跡地に安全柵設置の要望実現

この程、旧役場跡地に防犯並びに危険防止のための柵が設置されました。

これは、支所が移動し不要となった旧庁舎跡地に市が設置したもので、昨年の八月に、額田・井田地区の自治会長から市長に対して、全国的に多発している空き家での青少年の犯罪や建物の倒壊等による事故の未然防止を求めて、早急に解体・撤去されるよう要望していたことによるものです。

旧庁舎については、予算的なこともあって、速やかな解体・撤去には至っていませんが、今後、地元の額田・井田地区の自治会長会では、早期解体・撤去はもちろん、将来的な跡地利用を含めた計画を作成し要望していくこととしております。

なお、住民の皆様方で、跡地利用について良いご意見がありましたら是非、最寄りの自治会長までお教え願いたいと思います。

ご葬儀のお知らせ

葬儀一式24時間寝台車にて病院への迎え承ります。
 自宅葬、斎場葬他市役所の手続、火葬場の手続、一切。
 霊柩車、送迎バス、ドライアイス他全てお世話させていただきます。

一度ご相談
下さい。

真成葬祭

福知山市夜久野町額田91-5
 TEL 37-0337・0166

輝く夜久野の子どもたち

子ども安全見守り活動 に支援を受ける！

近年子どもを取り巻く環境は非常に厳しく、子どもが被害者となる事件が毎日のように発生しています。

こうした環境から子ども達を守るため、夜久野地域では平成十七年度から学校・家庭・地域が一体となって子どもの安全見守り活動が始まりました。

福知山市教育委員会においては昨年八月、各小学校区単位の取り組みと連携し組織のネットワーク化や全体的な安全確保の活動を推進する目的で、「福知山市子ども安全対策連絡協議会」が設立されました。

こうした取り組みに呼応して、共同募金会福知山支部から歳末助け合い募金の一部を市内十六学区子ども安全見守り団体へ支援が実施されました。

夜久野地域の精華・育英・明正三学区のうち、精華は入活動協力者帽子Vを、育英は入防犯立看板Vを、明正は入ベスト・腕章Vなどに補助金が使われました。

今後においても、皆様方の子どもの安全を守る活動に積極的に参加して頂きますよう、連合自治会からお願いいたします。

＜育英学区子ども達がお礼のことば＞

二月十八日、育英学区では、日頃お世話になっている地域の皆さんの見守り活動に対して、全校生

徒が体育館に集まり、五・六年生の代表がお礼の言葉を述べました。その後、皆様に授業参観をして頂きました。

中・上夜久野保育園 のようす

中夜久野保育園で三月七日、年長組が卒園するにあたり、「お別れ会」を保護者と一緒に行い、劇や遊戯など楽しい一日を過ごしました。年長組の皆はピカピカの一年生の気分で眼が輝いていました。三月十九日には「祖父母参観」も計画されており、この日の来るのを楽しみに待っています。



上夜久野保育園では毎月一回、収穫物や保護者からの頂き物を使って楽しいクッキングをしています。焼きいもやいちご狩り、餅つき大会など折々の工夫を凝らした取組がされています。自分たちで育てた野菜を美味しく食べるために、自分で料理をしています。



小中ふれあい交流授業 が好評でした

夜久野町内の三小学校の六年生42名と夜久野中学校二年生41名が、英語を通して『ふれあい交流授業』を行いました。

六年生の子ども達は、中学生の前で自信を持って英語でコミュニケーションをとることができました。

また、中学生も困っている小学生に優しく声をかけたり、「グループ集めゲーム」を積極的にリードするなど先輩としての思いやりの心を持つてふれあいを深めました。

三小学校六年生は、口々に「大変楽しかった」「中学校の英語授業が楽しみだ」との感想を寄せていました。

＜生徒会の新しい目標を決める＞

夜久野中学校生徒会は、今年のテーマとスローガンを生徒集会で確認しました。テーマが「輝く心、清心、向上心」でスローガンは、「輝かそう希望、素直な心で明日の扉を開こう」というものです。テーマの「輝く心」「清心」は生徒の造語ですが、個性を発揮し、正しい判断と素直な気持ちを持ち伝える心を養おうという意味が込められています。夜久野中学校が「みんなの心の居場所」となることを目指して頑張っています。地域の皆さんの理解と支援をお願いします。



シャディ

富士セイカ

☎ 0773-37-0058 FAX. 0773-37-0058

〒629-1304 福知山市夜久野町額田1355-4
メールアドレス/61140-000@shaddy.ne.jp

和風レストラン

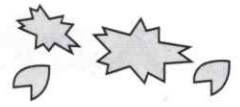
仕出し・宴会
お食事処

はなかく亭

夜久野町日置47-3
☎ 37-1144



まちがどつオト



農匠の郷やくの雪火祭

2月3日、4日、節分をテーマに「雪火祭」が行われました。3日（土）夜には、道沿いに約300本のろうそくで幻想的な「火の回廊」が設けられました。

4日には、晴れ渡った空の下、黒豆のゲームやクイズラリー、8メートルの巻き寿司作りなどの催しで、賑わいました。



フロも驚く力作が夜久野に集結！ 銀河鉄道999ポスターコンクール表彰式

2月17日（土）夜久野ふれあいプラザにおいて、「銀河鉄道999ポスターコンクール」表彰式が「夜久野星空の会」「日本宇宙少年団夜久野分団」の共催で行われました。

夜久野とゆかりの深い漫画家の松本零士さんが審査委員長を務めるコンクールも今年で3回目を迎え、応募者は128点にものぼりました。福知山市のみならず、東京や九州からも参加され、力作がそろいました。

上位入賞者には、松本零士さんの講評も披露され、参加者からあたたかな拍手が送られていました。



白熱 公民館合同囲碁大会



2月10日（土）、上・中・下の地域公民館共催で「合同囲碁大会」が開催されました。

16人の参加者が腕を競い合いました。3年前から、合同の行事となったこの大会は、囲碁の愛好者が、地域を越えて交流できる場として、楽しみにされています。今回は、高校生の飛び入り参加もあり、世代を越えて熱い戦いが展開されました。

「できた！」の歓声 中学生に学ぶパソコン教室



3月7日～9日夜久野中学校と夜久野地域公民館共催で「パソコン何でも相談室」を実施しました。

高いパソコン操作技能とボランティア活動を特色としている夜久野中学校生徒が、その力を生かそうと実施しました。

参加者の様々な相談内容に、中学生が親切に的確に答えました。80歳を越える参加者も数人あり、世代を越えた交流が生まれ、心温まる講習会となっていました。

車検整備钣金塗装修理オーディオ等車の事ならなんでも対応させていただきます。

新車・中古車販売 有限 浪漫亭
福祉車両取扱 会社

福知山市夜久野町R9号沿下夜久野パルテST.
TEL0773(37)5151 FAX0773(37)5353

御料理・寿司 芳乃家

TEL 37-0044

夜久野町史第2巻 (資料編)

発刊間もなく！



平成14年度から始まった夜久野町史編纂事業も福知山市の事業として引き継がれ、市民の皆様の大きな期待の中で着々と進められております。

この度夜久野町史第2巻の刊行が間近に迫ってきましたので、一足早く紹介させていただきます。第2巻資料編は、4部門からの構成となっており、考古編では縄文時代から江戸時代までの遺跡を中心に、古代／中世編では丹波と但馬を結ぶ夜久郷を舞台にした文献が掲載されています。また、美術編では寺社や各地区に伝来する彫刻・絵画などの美術工芸が余すところなく網羅されています。圧倒的な量感で期待が益々膨らみ、皆さんの心をとらえて離さないことでしょう。その後の刊行予定として資料編Ⅱ(近世・近現代)が現在平行して進められています。



一、大正の聖代ありがたき
こころ十月一日の
午前零時の「**国勢調査**」
開国以来例
国勢調査行は

五、主人留守なら女房が
代りて出せよ申告書
学校病院工場も
宿屋下宿屋料理屋も
居合はす人を届け出せ。

天田郡役所

◎国勢調査天田郡完成宣傳の歌

▲「国勢調査天田郡完成宣伝の歌」

▶「第一回国勢調査全国人口表」

政府が時期を決め全国一斉に行う国勢調査の資料が見つけられました。この資料は、当時調査員であった故片山勝太郎氏(畑)が大事に保管されていたもので、当時の様子をうかがい知ることが出来ます。この調査は、今から八十七年前の大正九年(一九二〇)に第一回が実施され、当初は十年ごとに行われたことがわかります(現在は五年ごと実施)。政府は初めてのことであった臨時国勢調査局を置き、区間の調査員に講習会を開き調査方法などを指示します。残された記録からは当時の末端調査員の苦勞が伝わってきます。資料は、「調査員準備調査要領」や調査員への感謝状、また「第一回国勢調査全国人口表」(大正九年九月一日現在)や「調査を啓発する宣伝歌の歌詞」などもあり、府下でも数少ない貴重な資料と言えます。

史料紹介 “第一回国勢調査始まる”

連絡先
夜久野町史編纂室
福知山市役所夜久野支所内(2階)
TEL 0773(37)1105
FAX 0773(37)1332

夜久野土木企業組合

福知山市夜久野町板生2697-2
TEL 0773-38-0860 理事長 中村 敏昭

山田通信建設株式会社

福知山市夜久野町板生357番地
TEL 0773-38-0322 代表取締役 山田 卓夫

駐在所さんからのお知らせ 子どもの安全について

最近、新聞やテレビで若い子どもが被害者となる犯罪や交通事故がよく報道されています。子どもたちの安全を守るため、何をすればよいかみんなで考えましょう。

〈子どもに対する犯罪の防止〉

○保護者の皆様は次のことに気を付けてください。

- 子どもを一人にしない。
- 暗くなるまで子どもだけで外出させない。
- 子どもの行き先を把握しておく。
- できる限り、大人の目の届く場所で遊ばせる。

○子どもに教えてあげてください。

- 「イカのおすし」
- 知らない人にはついて「イカ」ない。
- 知らない人の車には「の」らない。
- たすけて！と、「お」お声を出す。
- こわかったら、「す」ぐ逃げる。
- どんな人が、何をしたか、大人に「し」らせる。
- 「こども110番のいえ」

何かこわいことがあったときは「こども110番のいえ」と書かれた緑の看板がある家や商店に助けを求める。



〈子どもの交通事故防止〉

夜久野町内には大型車両が頻繁に通行する国道9号線があり、他府県の車両の通行が多い場所です。国道9号線などの大きな道路を子ども一人で横断させないようにしてください。車を運転中に、信号機の無い交差点や横断歩道で子どもが待っているときは止まりましょう。

〈駐在所からのお願い〉

毎日子どもたちは元気に学校へ登校していますが、道路には危険な場所が多く、大人がその安全を見守る必要があります。

散歩される方など、余裕があれば結構です、登下校の時間に合わせて通学路に出て、子どもたちに挨拶などの声かけをしていただいて、子どもを見守っていただけませんか？

挨拶は「人の元気の源」です。子どもたちも元気に喜ぶと思います。

みなさまのご協力をお願いします。



墓石・墓苑
のご用命は **高内石工組合**

〒629-1313 京都府福知山市夜久野町高内142
TEL (0773)37-0116

燃料油
潤滑油 (有)藤本石油夜久野給油所

〒629-1311 京都府福知山市夜久野町日置1104
TEL (0773)37-0805 FAX 37-1170

ホットニュース ② 居相はるな 選手 (夜久野中学校出身)

冬のインターハイ大回転で9位入賞

冬のインターハイ・第56回全国高校スキー大会で、福知山成美高校3年、居相はるな選手が、女子大回転で9位に入賞しました。雪の少ない西日本の選手は入賞は大変難しく、女子選手としては50年ぶりの快挙とのこと。

大会本番で滑った2本のうち、2本目のタイムは優勝した富山県の選手と1秒差もないほどでした。今後ますますの活躍が楽しみです。



平成十八年度 賛助会員ご加入ありがとうございました。

夜久野町商工会	夜久野高原温泉ほっこり館	山本産業株式会社
JA京都にのくに夜久野支店	なかじ医院上夜久野診療所	はっかく亭
京都北都信用金庫額田支店	株式会社 久華園	富士セイカ
西垣内科医院	但南建設株式会社	芳乃家
クリア株式会社	夜久野自動車整備工場	有限会社 浪漫亭
株式会社 衣川組	塚田産業株式会社	山田通信建設株式会社
天田瓦店	松崎建設株式会社	夜久野土木企業組合
株式会社 くさか	株式会社 衣川製材所	有限会社 藤本石油
真成葬祭	株式会社 高尾組	高内石工組合

平成19年度 小学校入学予定者数

	男・女
★精華小学校	8名 (6・2)
★育英小学校	5名 (1・4)
★明正小学校	16名 (8・8)

夜久野町の人口は 平成19年2月末日現在

★人口	4,648人 (-95人)
(男)	2,188人 (-55人)
(女)	2,460人 (-40人)
★世帯数	1,696戸 (-7戸)
	()内は昨年 同期

★ 平成十八年十月 亡父供養 西田 敏行様(日置)	★ 平成十八年十二月 亡父供養 衣川 和正様(下千原)	★ 平成十九年一月 亡父供養 松本 洋二様(中田)	★ 平成十九年二月 亡父供養 月見 一昭様(留町)	★ 平成十九年三月 亡父供養 中川 忠昭様(桑谷)	★ 平成十九年三月 亡父供養 中島 栄一様(柿本)
亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)
亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)	亡母供養 荻野 和正様(下千原)

ふるさと基金
まごころ銀行

まごころ銀行
篤志ありがとうございます。

平成18年度 夜久野ふるさと基金 決算書

【収入の部】	
寄付金	1,181,272円 (篤志寄付35件)
【支出の部】	
合計	179,569円 (感謝状・封筒・礼状ハガキ他)

編集後記

「掘り出され 春日まぶしき 蛙かな」。観測史上例をみない暖冬、冬眠もゆつくりできず自ら這い出す蛙もいるとか、合併して一年と三ヶ月、予測はしていたものの、私達の暮らしは肌寒さを覚える事案多く、最たるは難視聴対策事業で弱者を「受益者」。過疎高齢少子化の進行は歯止めはかからず、衰退する中山間地の現状は、「国あれど山河なし」を現出する恐れ大。

「祖びとの 尊き功」を大切に、「望あるふるさと夜久野」を守り育てるべき新しい自治組織の本会の立ち上げは急務。お互いに初めての取り組み、思いのほか難産ではあったが、多くの皆さんのご支援で無事誕生。

活動内容をお伝えする情報紙も計画どおり本号をもって本年度最終号。未経験者の拙い編集にもかかわらず、多くの原稿や写真等の提供や、浄財をいただいた賛助会員様と、愛読頂いた皆様に感謝！感謝！

(編集委員一同)